

貴方は貴方が出会った人たちでできている

始業式、校長先生が「貴方は貴方が選んだものでできている。」と言われました。私はそのことに加え、「貴方は貴方が出会った人たちでできている。」とも思っています。

私たちはこれまで出会った人たちから多くの影響を受けてきました。

その人の立ち振る舞いに感動し、立ち振る舞いをまねるようになった、あの人のものの見方・考え方を知り自分の見方・考え方の幅を広げることができたなど。これまで出会った人たちから影響を受けて今の自分がいるのではないのでしょうか。このことは、これまで出会った人たちが貴方をつくっているともいえます。また、貴方の中に、貴方がこれまで出会った人すべてが生きていてもいえます。

したがって、何か辛いことがあって「自分を嫌い」と言うことは、これまで出会った人(自分を好きになってくれた人)全ての人たちに対して失礼なことなのです。

新しい出会いがあって二週間が経ちました。今回の出会いが、どんな貴方をつくってくれるのでしょうか、また貴方が誰の新たな一部になるのでしょうか。

はきものをそろえると心もそろろう

～はきものをそろえる～

はきものをそろえると 心もそろろう

心もそろうと はきものもそろう

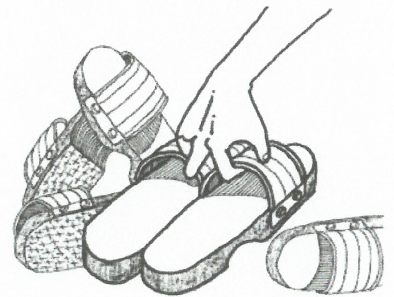
ぬぐとぎにそろえると

はくとぎに心がみだれない

だれかがみだしておいたら

だまってそろえておいてあげよう

そうすればきっと世界中の人の心もそろうでしょう。



この詩は、長野県円福寺の藤本幸那住職が作った詩になります。

終戦の時、戦争で親を亡くした子どもたちが物乞いやスリ、置き引きなどをして暮らしているのを見た住職はとても心を痛め、自分のお寺に連れて帰りました。その後育てる子どもたちが20人、30人と多くなった頃、玄関を見ると、脱ぎ捨てられた靴が重なったり、ばらばらになったりしていました。それを見た住職は子どもたちに「履き物をほっぽらかしておく、また戦争になってしまいますぞ。」と伝えたのです。これがきっかけとなって、この詩が生まれたそうです。

この詩は子どもたちに何を教えたかったのでしょうか。

自分の靴を揃えずに脱ぎっぱなしにする行動は、他の人がどのような気持ちになるかを全く考えていません。しかも、自分さえよければいいといった自分勝手な行動です。反対に、自分の靴をそろえる人は、心が穏やかで、自分の行動を冷静に考え、他の人がどのような気持ちになるのか考えることができます。さらに、他の人が乱した靴を黙ってそろえられる人でもあるのです。他の人の気持ちに考えをめぐらせられるようになれば、お互いに気持ちの良い生活ができます。

二年生の現状として、トイレのスリッパをそろえることが未だ改善されていません。お互いに気持ちの良い生活ができるための具体的な行動の一つがトイレのスリッパをそろえる行為だと思います。

自分だけやっても・・・と思う人もいるでしょうが、自分がやらないと何も変わりません。これを読んで、ひとりでも多くの方が「トイレのスリッパをそろえよう」と実践してくれると嬉しいです。